

[ここに入力]

令和元年度社会福祉法人陽和福祉会事業報告

I 法人本部

(1) 会議の開催

理事会

令和元年度は4回の理事会を開催した。

日時	議題等
5月21日	* 役員候補者の推薦に関する件 * 平成30年度事業報告及び決算に関する件 * 運転資金借入に関する件
6月11日	* 理事長の選定に関する件 * 業務執行理事の選定に関する件
12月4日	* 令和元年度補正予算に関する件 * 運転資金借入に関する件
3月16日	* 令和2年度事業計画及び予算に関する件 * 役員報酬等基準の一部改正に関する件 * 給与及び退職金規程の一部改正に関する件 * 宿直に関する規程の一部改正に関する件 * 評議員会の開催に関する件 * 評議員候補者の推薦に関する件 * 評議員選任・解任委員会の開催に関する件 * 評議員選任・解任委員会委員の変更に関する件

評議員会

令和元年度は3回の評議員会を開催した。

6月11日	* 役員の選任に関する件 * 平成30年度事業報告及び決算に関する件
12月16日	* 令和元年度補正予算に関する件
3月23日	* 令和2年度事業計画及び予算に関する件 * 役員報酬等基準の一部改正に関する件

その他

- ・ 運営推進会議 各奇数月に開催
3月は新型コロナウイルス感染予防のため中止
- ・ 苦情解決第三者委員会議 7月22日
- ・ 評議員選任・解任委員会 3月25日

(2) 外部研修への参加

月	研 修 名	参加人数
4月	「ACPについて」居宅連全体研修	1名
5月	クリニカルラダー I 「ノンテクニカルスキル」	2名
5月	小児慢性特定疾病児童事例検討会	1名
6月	しらやま医療講座	1名
6月	介護保険サービス事業者講習会	1名
6月	みんなで創ろう「春日井防災ネット」	2名
7月	訪問介護職員等スキルアップ研修 介護保険制度の概要について	2名
7月	認知症ケアセミナー	6名
7月	令和時代のビジョン！2040年を展望した社会福祉と社会福祉法人	1名
7月	さあ！始めよう防災 いざという時、力になるご近所づきあい	3名
7月	認知症の人に関する法律知識 成年後見制度及び消費者被害	1名
8月	訪問介護職員等スキルアップ研修 口腔ケア・嚥下に関すること	1名
8月	体によく効く栄養の話	2名
8月	介護保険指定事業者講習会	1名
9月	訪問介護職員等スキルアップ研修 服薬に関することについて	1名
10月	訪問介護職員等スキルアップ研修 ターミナルケア	1名
10月	認知症の早期発見と予防について	2名
10月	心不全にならないために心不全患者を支える	2名
10月	「ハラスメントトラブル」トラブルに発展させないために	1名
11月	訪問介護職員等スキルアップ研修 身体障害者や精神疾患について	1名
11月	医療労務コンサルタント・フォローアップ研修	1名
11月	第1・2回要配慮者医療施設防災講習会	1名
12月	認知症介護基礎研修	1名
12月	訪問介護職員等スキルアップ研修 自立支援の視点に立った身体介護	2名
12月	東海地区認知症フォーラム 2019 研修	4名
12月	よくわかる脳卒中の嚥下障害	2名
12月	介護保険制度の動向と法令遵守の管理体制	1名
12月	実践に活かすフィジカルアセスメント	1名
1・2月	サービス提供責任者研修（3回）	1名

(3) 内部研修の実施

月	研 修 名	講 師	参加人数
6月	第1回食中毒研修	サラヤ株式会社	29名
6月	第2回食中毒研修	サラヤ株式会社	20名
7月	生活期のリハビリについて	外部講師	18名
8月	アドバンスケアプランニングについて	外部講師	16名
10月	第1回施設における感染症対策	外部講師	17名

10月	第2回施設における感染症対策	外部講師	19名
11月	口腔ケア研修	外部講師	16名
11月	褥瘡予防の基礎知識	外部講師	17名
11月	119番通報訓練	教育防災委員	14名
1月	身体拘束勉強会	安全委員会	12名

(4) 委員会の開催状況（毎月1回開催）

委員会	委員会開催日	主な役割
安全委員会	第4火曜日	入居者の安全に関すること、研修
感染委員会	第3木曜日	感染予防、対策、研修の実施
教育・防災委員会	第2金曜日	各種研修、勉強会の管理、避難訓練等の実施
食事・栄養委員会	第4木曜日	日頃の食事に関すること。行事食の管理。
行事委員会	第4水曜日	各種行事の開催。
衛生委員会	第3金曜日	職員の健康管理、職場環境の整備
園芸委員会	不定期	入居者・利用者も加わり畑、花壇の整備

(5) 季刊誌「どんぐり広場」の発行

季刊誌「どんぐり広場」を四季に合わせ、年4回発行し、高森台・石尾台等の地域への回覧、入居者やご家族等に供覧している。ホームページにも掲載し過去のどんぐり広場も見る事ができる。

(6) 「高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会」への協力

高蔵寺ニュータウンの高森台県有地を活用しハナモモの咲く桃源郷づくりに協賛し、どんぐりの森及びどんぐりの家の敷地を提供している。平成29年2月から植樹が始まり本年度はどんぐりの家の法面に植樹され3年間で当敷地は終了した。今では徐々に花木が大きくなり4月の暖かい日にはきれいなハナモモの花が見られるようになってきた。

(7) 全体行事

* 夏まつり

8月24日に夏まつりを実施。今回も天候に恵まれどんぐりの森、どんぐりの家の入居者・利用者・ご家族・職員、地域の方々等、300名弱の参加があった。今回も坂下区会や春日井リハビリテーション病院からの備品借入、ボランティア等の協力を頂き、屋外で盆踊り、屋台（飲食・ゲーム）、花火などを行い楽しいひとときを過ごした。

* もちつき大会

どんぐりの森では12月27日、どんぐりの家では12月26日にそれぞれもちつき大会を開催。今回は必要な備品を施設で購入した。また、今年度も高森台地区社協の皆さんの協力を得て入居者、ご家族も参加していただいた。

* ボランティアによる活動

・蕎麦打ち、昼食に手打ち蕎麦をどんぐりの森の入居者、どんぐりの家の入居者にそれぞれ

れ年6回提供。3月から新型コロナウイルス拡大防止のため中止。

- ・移動売店、どんぐりの森において毎月1回、お菓子、日用品等の販売。
- ・元入居者のご家族様が玄関ホールにて毎月生け花を飾っていただいている。
- ・小規模多機能型居宅介護事業所における利用者への援助（傾聴など）。
- ・入居者・利用者への絵手紙教室、仏画教室、絵画教室を開催。
- ・その他、どんぐりの森の多目的ホール、どんぐりの家の地域交流ホールでの演奏会等には多くのボランティアに参加していただいている。

II どんぐりの森

(1) 地域密着型特別養護老人ホーム どんぐりの森

入居者数の推移（定員29名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	28	28	29	29	29	29
平均要介護度	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	29	27	29	28	28	28
平均要介護度	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4	4.5

ユニット数 3（さくら、あじさい、ひまわり）

職員数 常勤職員 21名 非常勤職員 7名（令和2年3月31日現在）

年間を通して平均要介護度が4.4から4.6と入居者の重度化が進んできた中でもユニット型特養の強みを発揮し、高い稼働率を維持することが出来た。入居者一人ひとりの生活パターンに合わせたケア、ボランティアによる演奏を実施している。各ユニットに置いても小行事を実施しており、状態に応じて日常生活をよりよく過ごしていただくようサービスを提供している。また、令和元年度も感染症や大きな事故もなく安定した1年となった。新型コロナウイルス感染防止のため、3事業所とも3月から面会禁止としている。

(2) 認知症高齢者グループホーム どんぐりの森

入居者数の推移（定員18名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	17	17	18	18	18	18
平均要介護度	2.0	1.9	1.7	1.7	1.7	1.7
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	18	18	18	18	18	17
平均要介護度	1.7	1.7	1.8	1.9	1.8	1.7

ユニット数 2（こすもす、さざんか）

職員数 常勤職員 12名 非常勤職員 9名（令和2年3月31日現在）

日用品の買い物など、機会を見つけては外出を行っている。ボランティアによる、仏画教室、

演奏会、上映会、園芸活動等、入居者の好みに合わせた行事も充実してきており活動性の維持に向けて選択の幅も広がっている。また、各ユニットにおいて調理を行い可能な限り入居者の皆さんにお手伝いをして頂いている。平成30年度は平均要介護度が2.1程度で推移したが令和元年度は1.7前後となった。要介護度が進んだ入居者が特別養護老人ホームへ入居できたことが要因となっている。入居者に合った事業所に移動して頂いている。

(3) 小規模多機能型居宅介護事業所 どんぐりの森

登録利用者数の推移（定員25名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録人数	21	22	22	22	20	20
平均要介護度 (要介護)	2.1	2.0	1.8	1.8	1.8	2.2
要支援人数	1	1	1	1	1	1
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数	21	20	19	21	21	20
平均要介護度 (要介護)	2.2	2.0	2.0	1.9	1.8	1.8
要支援人数	1	1	1	2	2	3

職員数 常勤職員 7名 非常勤職員 8名 (令和2年3月31日現在)

訪問サービス、通所サービス、宿泊サービスを組み合わせ、各利用者に適切なサービスを提供、利用者は要支援の方が1～3名と少なく在宅のサービスとしては重い方に利用していただいている。地域の高齢者の皆さんができるだけ自宅で過ごせるよう、また、その後の施設への入居もスムーズに行くよう今後も支援していく。

(4) 喫茶どんぐり

毎月第1、第3金曜日の午後に「オレンジプラスカフェ（認知症カフェ）」を喫茶どんぐりで開き、認知症に関する様々な相談に応じている。外部からの利用は少ないが、中には初めての介護保険サービスにつなげたケースも数件ある。毎回、職員が工夫を凝らした手作りおやつと飲み物を提供しどんぐり広場やホームページにおいても周知を図り一人でも多くの方が来店していただけるよう働きかけている。

隣地の障害者支援施設「はるひ荘」の入所者により、毎週日曜日の午前10時から午後1時まで喫茶どんぐりでコーヒーショップを営業している。3月は新型コロナウイルス感染防止対策のため休業した。

なお、空いているときは地域開放している。

(5) 多目的ホールの利用

毎月2回以上ボランティアの皆さんによる演奏会等の行事や職員研修などに利用している。また、地域に無料開放しており、地域高齢者の会合や演奏練習などにも利用されている。

(6) 園芸活動（入居者・利用者・家族・職員の有志による）

春日井市から花壇コンクール用の花の苗をもらうなどして出入口横に花壇を設けている。また、どんぐりの森の中庭にもボランティアの協力を得て花壇を整備し車いすでも花のそばまで行けるよう通路が設けられた。

III どんぐりの家

(1) サービス付き高齢者向け住宅どんぐりの家

利用者数の推移（定員33名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	33	33	33	33	33	33
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	33	33	33	33	33	33

職員数 常勤職員 1名 非常勤職員 3名（平成31年3月31日現在）

平成30年5月に開設。令和元年度は一時的な入退院はあるものの1年を通してほぼ満室で推移した。自立度の高い入居者もおり外出したり、ボランティアで雑木林の整備をしている人もいる。また、各種行事をどんぐりの森と共同・連携して行っており日常生活の活性化・交流を図っている。この地域は移動手段、買い物が不便であることから、春日井リハビリテーション病院の送迎車が毎日、移動販売車「道風くん」が毎週金曜日に来て頂いている。3月には新型コロナウイルス感染予防のため外出の自粛を依頼、アピタ高蔵寺店への送迎を中止するなどの対応をしている。

(2) 訪問看護ステーション どんぐりの森

利用者数の推移（登録人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険	23	22	21	22	21	22
医療保険	9	8	7	9	7	9
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	22	24	25	25	26	26
医療保険	9	8	8	10	11	9

職員数 常勤職員 2名 非常勤職員 4名（令和2年3月31日現在）

平成28年10月1日に開設。平成30年5月にどんぐりの家に移転する。在宅での医療対応者であるため、利用者の体調により新規利用や利用停止など変動はあるが現在登録者数は35名となっている。また、サ高住の入居者の中にも訪問看護を必要とする入居者が出てきている。引き続き近隣の医療機関、居宅介護支援事業所と連携をとり利用者の拡大を図っていく。

(3) デイサービスどんぐりの家

利用者数の推移（1日の利用定員15名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	20	17	19	22	22	24
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数	24	27	28	29	29	29

職員数 常勤職員 5名 非常勤職員 4名（令和2年3月31日現在）

平成30年5月に開設、令和元年度は登録者が増え29名となった。また、利用者の半分はサ高住以外の在宅からの利用となっている。利用者一人ひとりに寄り添い小規模のデイサービスの特徴を活かしたサービスを提供している。

(4) ヘルパーステーションどんぐりの家

利用者数の推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	13	12	15	16	19	19
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数	20	20	21	22	22	22

職員数 常勤職員 5名 非常勤職員 2名（令和2年3月31日現在）

平成30年5月に開設、利用者はサ高住の入居者。開設から2年が経過し介護保険サービスを必要とする入居者が増え年度末には利用者が22名と入居者全体の半数を超えている。24時間サ高住に職員が常駐しており夜間の需要にも対応できるので入居者の皆さんが安心安全に暮らせる体制となっている。

(5) 地域交流ホールの利用

地域住民の介護予防に資するため月2回（第2・第4木曜日）ふれあい運動教室を開催している。しかしながら、地域の皆さんの参加が少なくなり今後の課題となっている。そのほか、阿波踊りなどの催しや地域の皆様の音楽練習や体操等に利用されている。

なお、3月からは新型コロナウイルスの感染防止対策のため利用を中止している。

(6) 雑木林の整備

広い敷地の雑木林を散策できるよう、ボランティア等により順次整備が進められている。また松林だけでなく果樹や花木の植栽も少しずつ行っている。既存の花壇の隣に新たな花壇づくりも始まっている。また、一角で菜園も行っており新鮮な食材の提供が行われている。

なお、本年度は斜面等の松が松くい虫の被害に遭い20本以上の伐採を行った。